

建築構造設計の専業事務所  
で免震構造や制振構造などを  
得意とする織本構造設計（東  
京都新宿区）。安全・安心な  
建物を提供するという軸を守  
りつつ、社員が生き生きと働  
ける環境を作り上げる。BIM  
活用に加えて、業務のDX  
化も検討していく。社会から  
必要とされる100年企業を  
目指し歩みを進める。

— 就任の抱負を。

「創業から68年目を迎えた。  
これからも次世代に引き継い  
でいくため働きやすい会社に  
したい。生き方と働き方のバ  
ランスをとる必要がある、  
『ライフ・ワーク・バランス』  
の順番で考えていく。土曜日  
出社を考慮しての仕事量では  
なく、しっかりコントロール  
したい。そうすることで会社  
が長生きし成長につながる」

— 事業環境は。

「再開発物件など仕事量は  
ある。建設コスト上昇や建設  
業界での働き方改革を要因  
に、工事が滞っているケース

## 織本構造設計

こばやし みつお

# 小林 光男氏

# 「ライフ・ワーク・バランス」を重視

があるが、直近では再開発の  
動きが見え始めた。東京近郊  
が主体だが、マンションも動  
いており依頼が来ている」

— 注力する点は。

「安全・安心な建物を造っ  
ていくことが一番だ。免震構  
造と制振構造では最先端の技

術を持っている。建築基準法  
を満足するだけでなく、顧  
客が求めている安全・安心に  
応えたい。カーボンニュート  
ラル（CN）への対応も必要  
だ。地球環境に優しい材料が  
求められており、高層木造建  
築にも取り組んでいる。災害  
で壊れてしまうと廃棄物にな  
ってしまふ。インシャルコス  
トは上がるが、被害を最小限  
に抑える建物にすればトータ  
ルで地球環境に貢献できる」

— 今後に向けては。

「社員教育に力を入れる。  
昨年の新入社員から育成プロ  
グラムを始めた。試行錯誤の  
段階だが、CADや計算など  
を勉強してもらっている。学  
生はホームページを見てい  
る。人材確保の観点を踏まえ  
てホームページも刷新した」  
「もっと耐震性能を上げる  
べき建物がたくさんある。古  
い建物でも免震レトロフィッ  
ト技術により100年建築に  
することが可能だ。100年  
企業を目指している。そのた  
めには現状維持ではなく、最  
新ニーズや新しい技術に対応  
しなければならない。技術を  
さらに高め、社会から必要と  
される会社に育てたい」。



## 新社長

1986年東京理科大学工学部第一部  
建築学科卒、織本匠構造設計研究所（現  
織本構造設計）入社。2008年業務執  
行役員設計部部長。信条は新人時代に山  
本和夫社長（当時）に言われた「技術を  
売っても魂売るな」。正しいことを貫く  
姿勢を大事にする。趣味は学生時代から  
続ける登山。東京都出身、61歳。

（4月1日就任）

